

令和2年度/令和3年度 代替輸送訓練報告

令和4年2月24日

北陸地域国際物流戦略子一△事務局

01.訓練の実施内容

(1) 代替輸送訓練の実施内容

■代替輸送訓練の経緯

- 東日本大震災時において、日本海側の港湾が太平洋側のバックアップ機能を果たしたことから、北陸地域の港湾が果たすべき役割や方策を検討することを目的として、「広域バックアップ専門部会」を平成24年12月に設置。
- 同専門部会では「代替輸送モデルケース」、「代替輸送のための体制・役割の検討」、「代替輸送訓練の実施」及び「北陸地域の港湾物流情報を一元化するポータルサイトの開設」など、代替輸送を円滑に行うために必要な方策を検討。
- 平成25年度から継続して代替輸送訓練を実施するとともに、代替輸送手引書の策定及び改訂を実施。
- 「太平洋側大規模災害時における北陸地域港湾による代替輸送基本行動計画」を策定（H29.1.13公表）

■代替輸送訓練の目的

太平洋側の荷主企業及び物流の供給者に代替輸送の有効性を確認するとともに、「基本行動計画」の実効性を高めるため、代替輸送訓練を実施する。

■令和2年度、令和3年度の代替輸送訓練の実施概要

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン形式による訓練を実施した。

また、訓練演習の前に、太平洋側港湾の代替港湾となる北陸地域の外資コンテナを取り扱う港湾（新潟港、直江津港、伏木富山港、金沢港、敦賀港）の施設概要等（令和2年度については、海上輸送事業（新日本海フェリー・近海郵船））について紹介する時間を設けた。

(2) 代替輸送訓練の開催状況

	令和2年度	令和3年度
テーマ (達成すべき目標)	オンラインによる代替輸送の切り替え手順の確認	オンライン上でのスムーズなコミュニケーションと代替輸送の切り替え手順の確認
開催日時	【首都直下地震】 令和3年2月4(木)13:00～17:00 【南海トラフ地震】 令和3年2月5日(金)13:00～17:00	【首都直下地震】 令和3年11月24日(水)13:30～17:00 【南海トラフ地震】 令和3年11月25日(木)13:30～17:00
訓練のポイント	初めてZoom、Teamsの併用による訓練を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・首都直下地震:Zoom、南海トラフ地震:Teamsでの実施(併用はしない) ・参加者はすべて荷主に設定(参加する港湾運送業者にはグループのリード役) ・訓練のデモンストレーションを実施 ・事前説明会にて、北陸港湾の紹介及びグループでの自己紹介を実施
参加人数	【首都直下地震】約100名 【南海トラフ地震】約130名	【首都直下地震】約90名 【南海トラフ地震】約80名
場所	オンライン(Zoom・Teamsによる参加、Vimeoによる視聴)	オンライン(Zoom・Teamsによる参加、視聴)
訓練の形式	オンライン図上訓練(ロールプレイング形式)	オンライン図上訓練(ロールプレイング形式)
対象	太平洋側港湾利用荷主等で、災害時に企業の事業継続を考える上で港湾の代替輸送に関心のある企業。 (1)荷主(2)商社(3)陸運(物流業者)(4)港運事業者(5)倉庫業者(6)船社(7)港湾管理者 等	太平洋側港湾利用荷主等で、災害時に企業の事業継続を考える上で港湾の代替輸送に関心のある企業。 (1)荷主(2)商社(3)陸運(物流業者)(4)港運事業者(5)倉庫業者(6)船社(7)港湾管理者(8)保険会社等

(2) 代替輸送訓練の開催状況

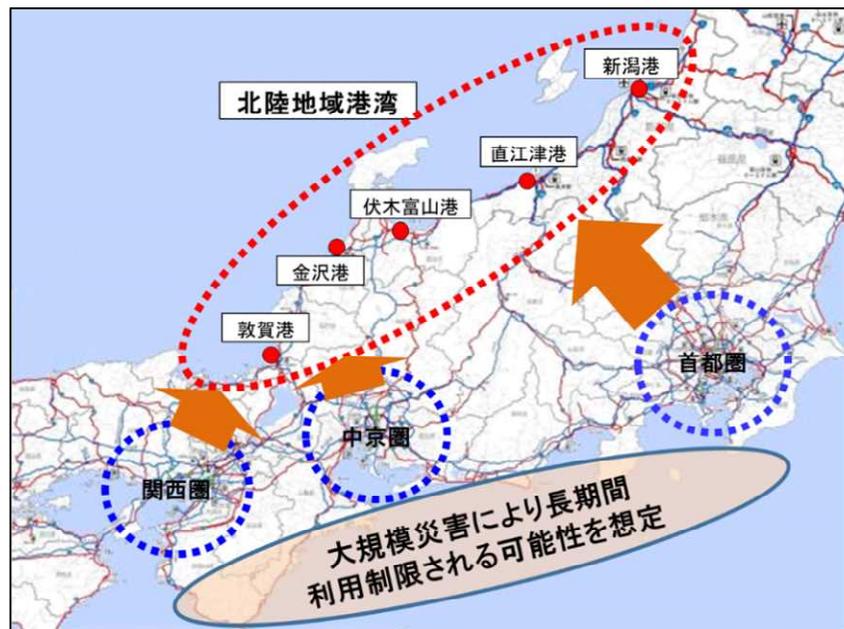
	令和2年度	令和3年度
プログラム	<p>13:00～13:05 開会挨拶(北陸地方整備局)</p> <p>【第1部】</p> <p>13:05～13:10 趣旨説明</p> <p>13:10～13:50 北陸地域港湾の紹介 (新潟県、富山県、石川県、福井県)</p> <p>13:50～14:00 海上輸送事業の紹介 (4日 新日本海フェリー、5日 近海郵船)</p> <p>14:00～14:10 ≪休憩≫</p> <p>【第2部】</p> <p>14:10～14:40 オンライン代替輸送訓練の事前説明</p> <p>14:40～15:00 オンライン訓練の進め方・ツールの模擬体験</p> <p>15:00～16:20 オンライン代替輸送訓練(演習) 「もしも、日ごろ使っている港湾施設が地震で使えなくなったら」</p> <p>16:20～16:40 意見交換</p> <p>16:40～16:55 発表</p> <p>16:55～17:00 閉会挨拶(北陸信越運輸局)</p> <p>(事前説明会プログラム)</p> <p>14:00～14:05 代替輸送とは</p> <p>14:05～14:15 代替輸送手引書の説明</p> <p>14:15～14:45 オンライン代替輸送訓練の進め方、ツールの説明</p> <p>14:45～15:00 質疑応答</p>	<p>13:30～13:35 開会挨拶(北陸地方整備局)</p> <p>13:35～13:40 趣旨説明</p> <p>13:40～14:20 オンライン代替輸送訓練の事前説明</p> <p>14:20～14:40 オンライン代替輸送訓練のデモンストレーション</p> <p>14:40～16:00 オンライン代替輸送訓練(演習) 「もしも、日ごろ使っている港湾施設が地震で使えなくなったら」</p> <p>16:00～16:30 意見交換</p> <p>16:30～16:55 発表・講評</p> <p>16:55～17:00 閉会挨拶(北陸信越運輸局)</p> <p>※北陸地域港湾の紹介は事前説明で実施</p> <p>(事前説明会プログラム)</p> <p>14:00～14:05 趣旨説明</p> <p>14:05～14:10 訓練にあたって挨拶(北陸地方整備局)</p> <p>14:10～14:50 北陸地域港湾の紹介 (新潟県、富山県、石川県、福井県)</p> <p>14:50～15:05 代替輸送とは、代替輸送手引書の説明</p> <p>15:05～15:35 オンライン代替輸送訓練の進め方、ツールの説明</p> <p>15:35～15:50 グループに分かれて自己紹介、意見交換</p> <p>15:50～16:00 質疑応答</p>
共催・後援団体	<p>【首都直下地震】</p> <p>共催:内閣府、新潟県、富山県、石川県、福井県</p> <p>後援:埼玉県、一般社団法人埼玉県経営者協会、公益財団法人埼玉県産業振興公社</p> <p>【南海トラフ地震】</p> <p>共催:内閣府、新潟県、富山県、石川県、福井県</p> <p>後援:京都府、名古屋商工会議所、岐阜商工会議所</p>	<p>【首都直下地震】</p> <p>共催:内閣府、新潟県、富山県、石川県、福井県</p> <p>後援:埼玉県、東京商工会議所、一般社団法人埼玉県経営者協会、公益財団法人埼玉県産業振興公社、一般財団法人危機管理教育&演習センター、特定非営利活動法人事業継続推進機構</p> <p>【南海トラフ地震】</p> <p>共催:内閣府、新潟県、富山県、石川県、福井県</p> <p>後援:京都府、名古屋商工会議所、岐阜商工会議所、一般財団法人危機管理教育&演習センター、特定非営利活動法人事業継続推進機構</p>

03.代替輸送の内容

(1) 北陸地域港湾による代替輸送

- 東日本大震災では、取引先の業務停止等により必要な材料や製品等の調達が困難となり、直接的な被害を受けていない多くの太平洋側の企業が、事業中断や倒産に追い込まれた。一方で日頃太平洋側港湾を利用していた貨物を、日本海側港湾を利用して代替輸送することにより、事業を継続し損害を最小限にとどめたという事例がある。
- 今後、太平洋側で首都直下地震や南海トラフ巨大地震が発生した場合に、事業を継続し損害を最小限にとどめるためには、常日頃から北陸地域港湾を利用した代替輸送体制の構築が重要となる。
- よって、まずは日頃、太平洋側港湾を利用している首都圏、中京圏の荷主企業および物流のサプライヤーに、代替輸送の必要性及び有用性を認識してもらうとともに、実際の災害発生時に円滑かつ効率的に対処できるよう事前に代替輸送を想定し、訓練を行う。

北陸地域港湾による代替輸送のイメージ



**太平洋側で発生した
大規模地震によって
使用不能に！**

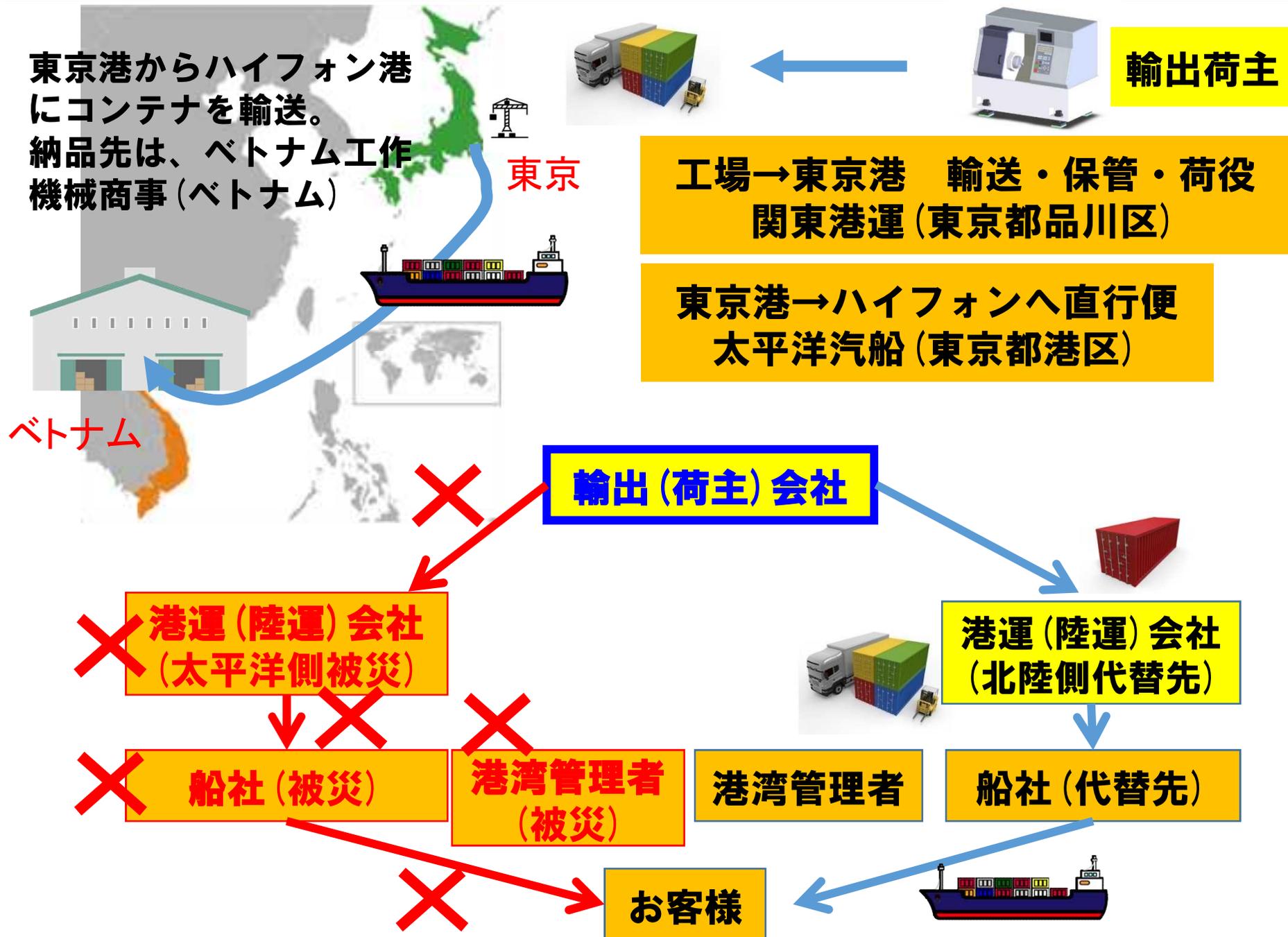


代替輸送ルートの確保を！



**日本海側港湾を利用した
代替輸送を実施**

(2) 今回の想定：工作機械のNC旋盤をベトナムへ輸出



(3) 訓練挨拶・北陸地域港湾・海上輸送事業の紹介【令和2年度】



【開会挨拶】
国土交通省
北陸地方整備局 港湾空港部
部長 富田 幸晴



【挨拶】
国土交通省 港湾局
海岸・防災課 災害対策室
室長 酒井 敦史



【挨拶】
東北学院大学
教養学部 地域構想学科
教授 柳井 雅也 様



【趣旨説明】
国土交通省
北陸地方整備局 港湾空港部
港湾高度利用調整官
武田 均

【北陸地域の港湾紹介】



新潟県内港
の紹介



富山県内港
の紹介



石川県内港
の紹介



福井県内港
の紹介



【海上輸送事業の紹介】



(首都直下地震)
新日本海
フェリーの
紹介



(南海トラフ地震)
近海郵船
の紹介



【閉会挨拶】
国土交通省
北陸信越運輸局 交通政策部
部長 落合 裕史

(3) 訓練挨拶・北陸地域港湾の紹介【令和3年度】



【開会挨拶】
国土交通省
北陸地方整備局 港湾空港部
部長 鎌田 一郎



【挨拶】
国土交通省 港湾局
海岸・防災課 災害対策室
室長 酒井 敦史



【挨拶】
東北学院大学
教養学部 地域構想学科
教授 柳井 雅也 様



【趣旨説明】
国土交通省
北陸地方整備局 港湾空港部
計画企画官 井出 正志

【北陸地域の港湾紹介】事前説明会で実施



新潟県内港
の紹介



富山県内港
の紹介



【閉会挨拶（首都直下地震）】
国土交通省
北陸信越運輸局 交通政策部
次長 坂本 賢一郎



石川県内港
の紹介



【閉会挨拶（南海トラフ地震）】
国土交通省
北陸信越運輸局 交通政策部
部長 落合 裕史



福井県内港
の紹介



04.オンライン代替輸送訓練方法

(1) オンライン代替輸送訓練（演習）手順【令和2年度/令和3年度】

- オンライン代替輸送訓練（演習）では参加者に、【令和2年度：模擬の輸出荷主、港運業者の担当者】、【令和3年度：模擬の輸出荷主】となってもらう。
 - 参加者は、24時間経過した時点で知りえた情報をもとに、付与された状況に応じて、他の模擬関係機関と連携を取り合い、代替輸送対応策を検討して意思決定を行う。
 - 参加者は、コントローラー(模擬役)の社内の上司、部下役、お客様や船社等とも連絡を取り合い、代替輸送対応を進める。
- 訓練中に追加付与シナリオ(指示書)がコントローラーより付与。
 - 代替輸送の手順を進めつつ、指示された内容に対する対処を検討して、オンライン付箋「lino（リノ）」に回答。
 - 付箋の色のルールに基づき、代替輸送をするうえで、検討したこと、対処したこと、必要なこと等をオンライン付箋「lino（リノ）」に入力し、キャンパス上で共有。
- 訓練終了後に意見交換を実施し、課題を整理するため、ピンク色のオンライン付箋「lino（リノ）」等に入力。

プレーヤーが訓練に必要なツール

- ライブ配信:【令和2年度「Vimeo(ビメオ)」】
- 全体進行・模擬会社グループ:【令和2年度「Zoom（ズーム）」「Teams(チームス)」併用】
【令和3年度 首都直下地震「Zoom（ズーム）」、南海トラフ地震「Teams(チームス)」】
- 情報共有、状況付与:「Lino（リノ）」(オンライン付箋)
- 訓練概要、情報共有:訓練用ホームページ
- 連絡手段:Zoom・Teamsチャット、訓練用Webメール

(2) オンライン代替輸送訓練（演習）のイメージ【令和2年度/令和3年度】

- ロールプレイングとは、「role（役割）」と「playing（演じる）」を掛け合わせた言葉で、模擬会社の役割を想定し、疑似体験を通して演習を行う手法。
- プレーヤー(参加者)
プレーヤーは、グループごとに、輸出荷主、海運業者等の模擬会社の災害対策本部の中で事業継続する担当の役割になってもらい、被害に見舞われている状況の中から代替輸送の対応を行う。
- サポーター(訓練事務局スタッフ)
サポーターとは、プレーヤーの各グループ内に配置し、今回使用するツールの取り扱いの説明、補助し、進行をサポート。
- コントローラー(訓練事務局スタッフ)
コントローラーは、参加者が実際に連絡する相手の役割(船会社、港湾・道路管理者、インフラ事業者等)を担う。

【令和2年度】



【令和3年度】



※首都直下地震: Zoomの場合

(3) 令和2年度使用した情報共有手段

■ 名称：訓練用ホームページ

- ・ 機能：ホームページ上のコメント欄に自由に書き込み
- ・ 動作：インターネット上で動作する（Webブラウザで動作するアプリケーション）
- ・ 必要なもの：インターネットに接続できるパソコンとネット環境

オンライン演習
オンライン代替輸送訓練
首都直下地震を想定した代替輸送訓練

北陸地域港湾による代替輸送のイメージ

さいたま製作所株式会社

【会社概要】

輸出荷主A.プレーヤー模擬会社概要

会社名・団体名	さいたま製作所株式会社(埼玉県さいたま市)
住所	埼玉県さいたま市岩槻区大字掛7953-6
電話/FAX	048-757-1111 / 048-757-1112
代表者	埼玉太郎
設立	1957年(昭和32年2月)
資本金	1000万
売上高	3億円 (内訳:国内2億円/ベトナム輸出 1億円)
従業員数	20名
工場・倉庫	埼玉県さいたま市(工場)
拠点	さいたま本社工場
主要顧客	ベトナム工作機械商事(ベトナムハイフォン市)
業種	機械
事業内容	産業機械を製造・販売している

輸出荷主A.プレーヤー模擬会社概要

本社工場で製造したNC旋盤等をベトナム工作機械商事(ベトナムハイフォン市)に輸出している。
ベトナム工作機械商事(ベトナムハイフォン市)は、日本から6社購買してベトナム国内の工場に販売している。
概要
輸送ルートは、本社の倉庫に在庫あり 輸送ルート(関東東海線)に依

【15.自社の被害状況(24時間まで)】

自社の被害状況(24時間まで)

- ・ 震度 ■6強 **さいたま製作所株式会社(さいたま市)**
- ・ 自社の被害 ■軽微
- ・ 人的被害(安否状況) 軽傷者2名(安否状況) 確認済み20名
- ・ 本社建物被害 外壁がはがれる程度で異常なし
- ・ 本社設備被害 特に被害なし
- ・ 工場・倉庫被害 さいたま本社工場は、特に被害なし
- ・ 在庫倉庫は、特に被害なし 02/07(日)東京港出航予定の在庫品は無事
- ・ ライフライン被害
 - ・ 通信被害 継続
 - ・ 電力被害 正常
 - ・ ガス被害 ガス復旧
 - ・ 水道被害 正常
 - ・ 下水道被害 正常

【19.追加付与シナリオ(指示書)】

追加付与シナリオ(指示書)

No	02
日時	02月04日(木) 15:50
誰が	情報収集をしている担当者
誰に	輸出荷主A:さいたま製作所(株)
どんな内容	代替輸送先の情報収集をしている担当者から、「代替港に振り替えると従来より2割程度費用が増しになる模様」との報告がありました。
どんな回答	どうするかグループ内で検討してください。

追加付与シナリオ(指示書)

No	02
日時	02月04日(木) 15:50
誰が	情報収集をしている担当者
誰に	輸出荷主B:宇都宮工作所(株)
どんな内容	代替輸送先の情報収集をしている担当者から、「代替港に振り替えると従来より2割程度費用が増しになる模様」との報告がありました。

■ 名称：lino (リノ) <https://ja.linoit.com/>

- ・ 機能：オンラインの付箋で自由に書き込み、データ、写真等の添付が可能
- ・ 動作：インターネット上で動作する（Webブラウザで動作するアプリケーション）
- ・ 必要なもの：インターネットに接続できるパソコンとネット環境

マイページアイコン
このアイコンをクリックするとマイページが表示されます。キャンパスの更新状況の一覧、キャンパスグループの作成もマイページでおこなえます。

パレット
付箋をドラッグ&ドロップで好きな場所に貼れます。

背景
付箋を貼っていないところで、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを左右に動かすとキャンパスを動かすことができます。

カレンダー
付箋に日付をつけると、ミニカレンダーの目的に緑色のマークがつかます。日付をクリックするとその日の付箋が一覧できます。

ドック
キャンパスへのショートカットです。また、ドックのキャンパスに付箋をドラッグ&ドロップすると付箋を移動できます。

ナビゲーター
広いキャンパスをドラッグ&ドロップで素早く移動。

チャット履歴

02月04日(木) 15:50

情報収集をしている担当者

輸出荷主B:宇都宮工作所(株)

代替輸送先の情報収集をしている担当者から、「代替港に振り替えると従来より2割程度費用が増しになる模様」との報告がありました。

どうするかグループ内で検討してください。

代替輸送訓練

輸出荷主Aグループ

【状況】

【すること】

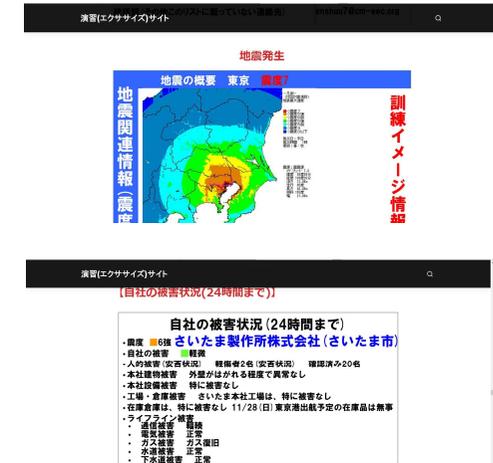
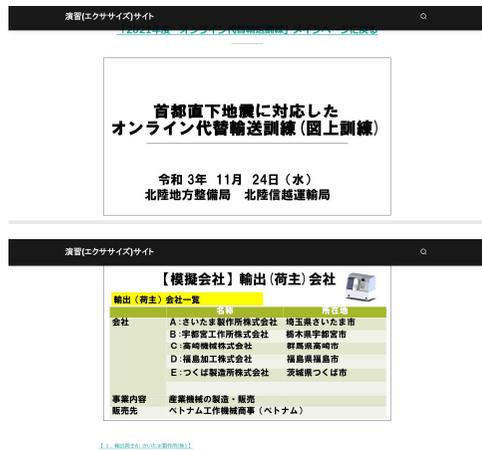
【必要な資源】

【必要な情報】

(3) 令和3年度使用した情報共有手段

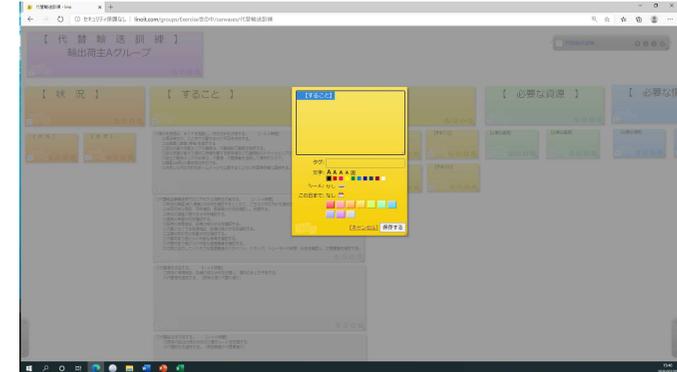
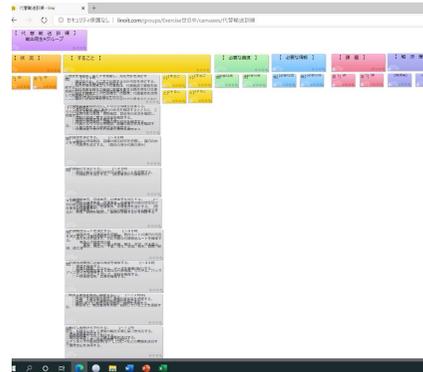
■ 名称：訓練用ホームページ

- 機能：訓練の設定条件や連絡先などの情報閲覧
- 動作：インターネット上で動作する（Webブラウザで動作するアプリケーション）
- 必要なもの：インターネットに接続できるパソコンとネット環境



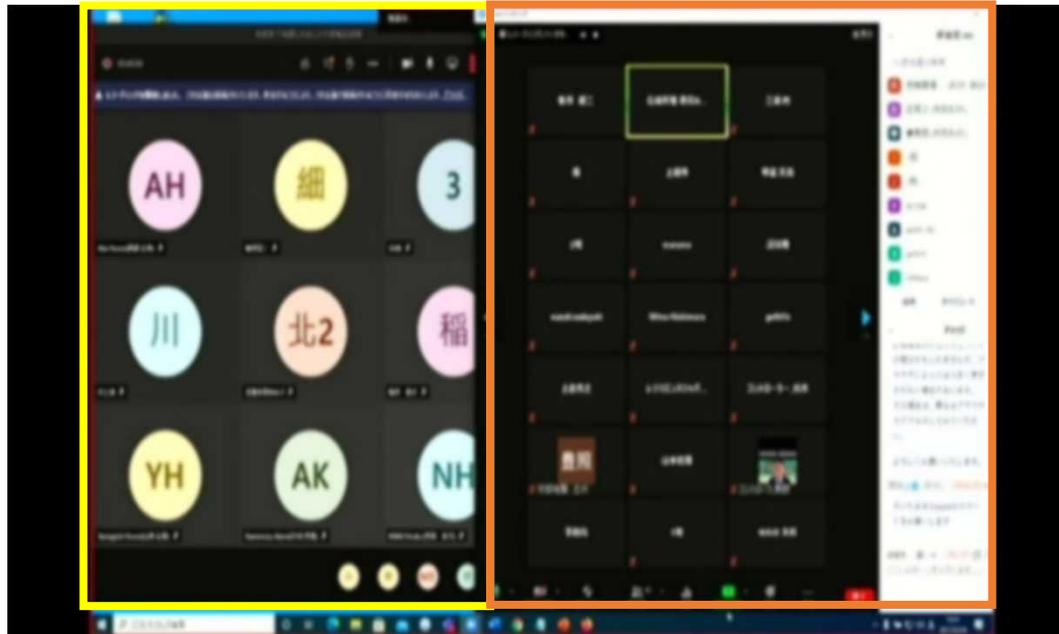
■ 名称：lino (リノ) <https://ja.linoit.com/>

- 機能：オンラインの付箋で自由に書き込み、データ、写真等の添付が可能
- 動作：インターネット上で動作する（Webブラウザで動作するアプリケーション）
- 必要なもの：インターネットに接続できるパソコンとネット環境

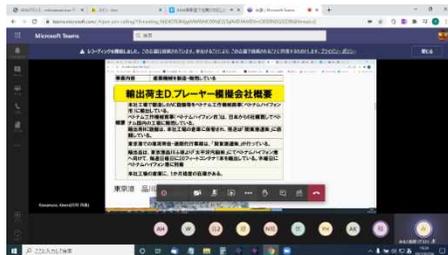


05.代替輸送訓練の様子 【令和2年度】

(1) オンライン代替輸送訓練の様子



Teamsグループ対応1



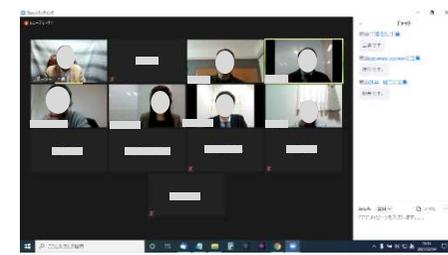
模擬会社の確認、資料確認



今後すべき内容の確認と、連絡する相手・内容の整理

全体セッション Teams、Zoomのハイブリッド共有

Zoomグループ対応1

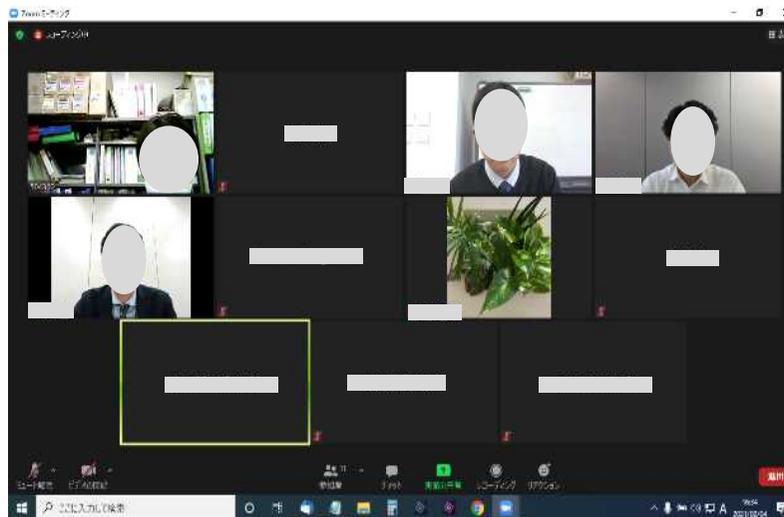


自己紹介、役割分担

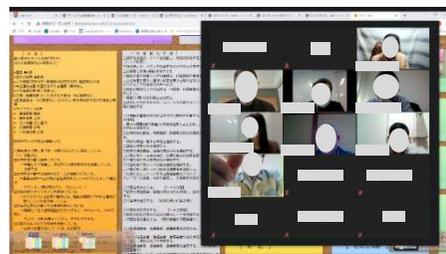


今後すべき内容の確認と、連絡する相手・内容の整理

(2) グループの様子



Zoomグループ対応2

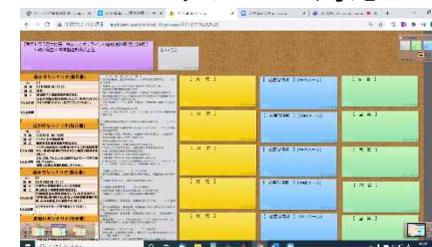


「状況」(オレンジ)に対して対応策の検討

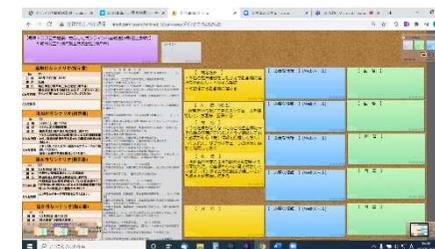


「対応策」(黄色)の検討

Zoomグループ対応2



「指示書」(オレンジ)に対して対応策の検討



「対応策」(黄色)の検討

(3) 統括本部の様子



統括本部・コントローラー

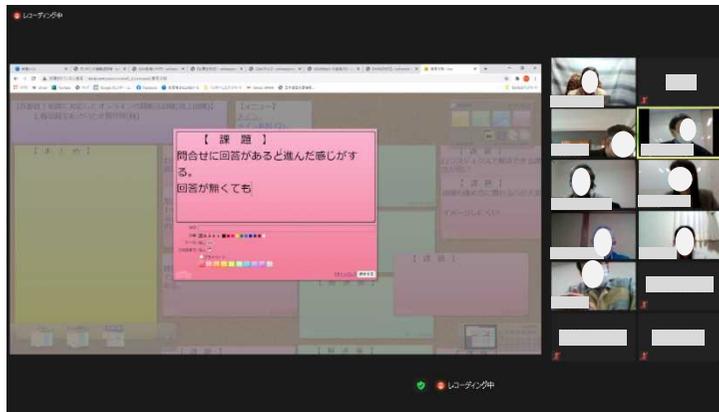


ファシリテーター進行・解説・講評

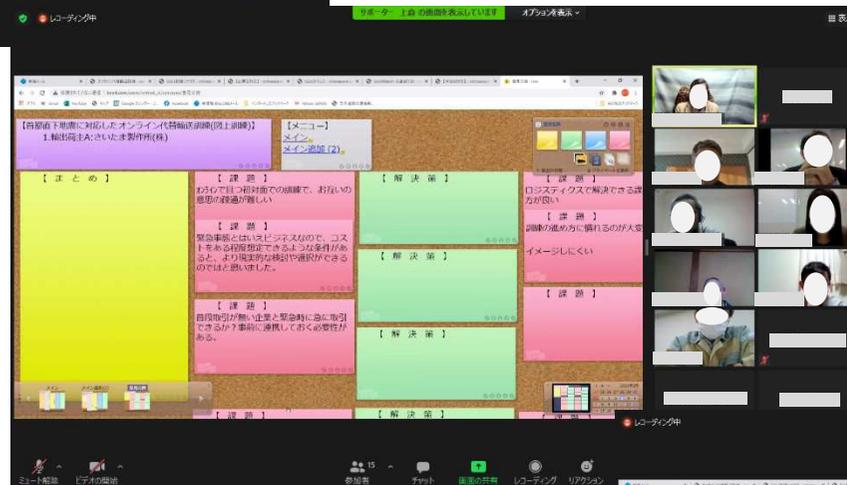
(4) Vimeo(ビメオ)によるライブ配信の様子



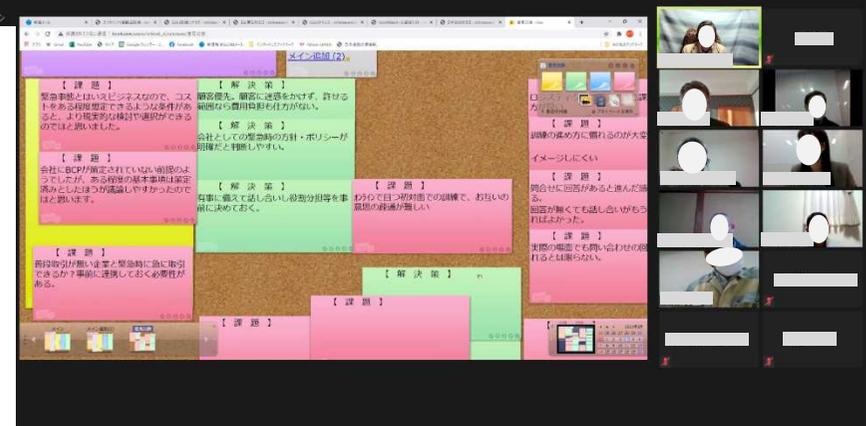
(5) 意見交換の様子



「課題」(ピンク)入力

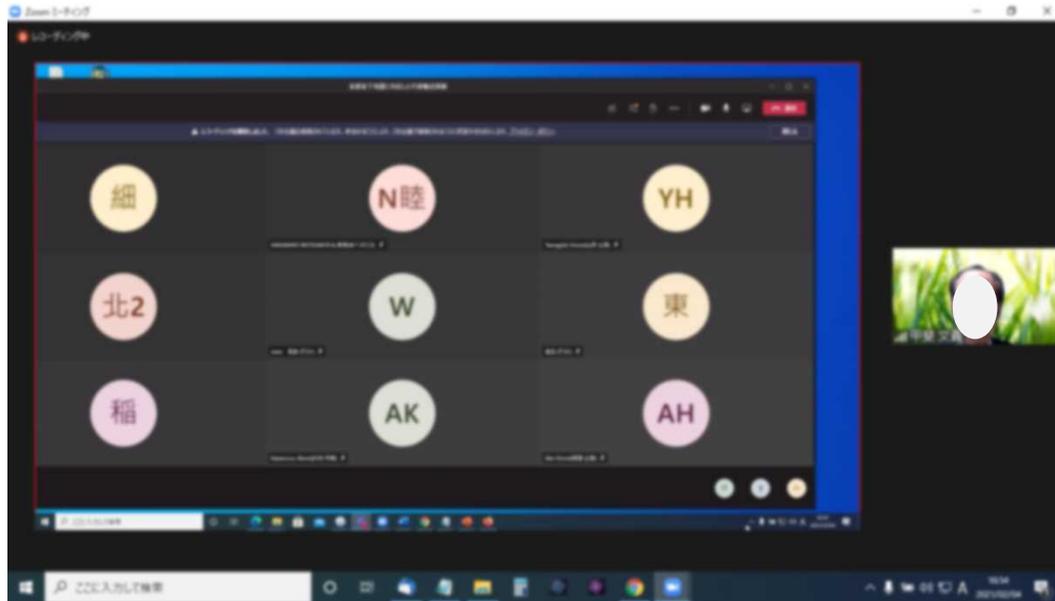


「課題」(ピンク)抽出

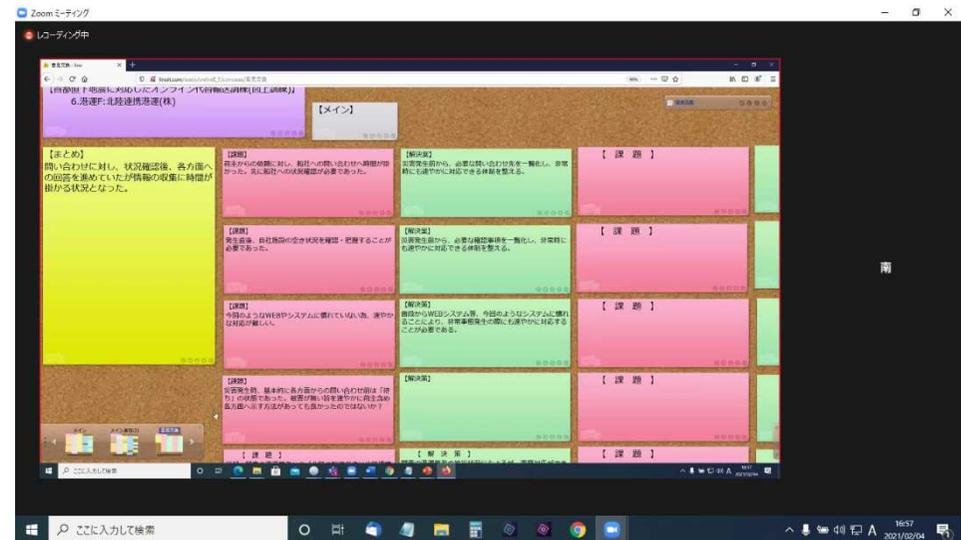


「解決策」(黄緑)抽出

(6) 発表の様子



「課題」発表

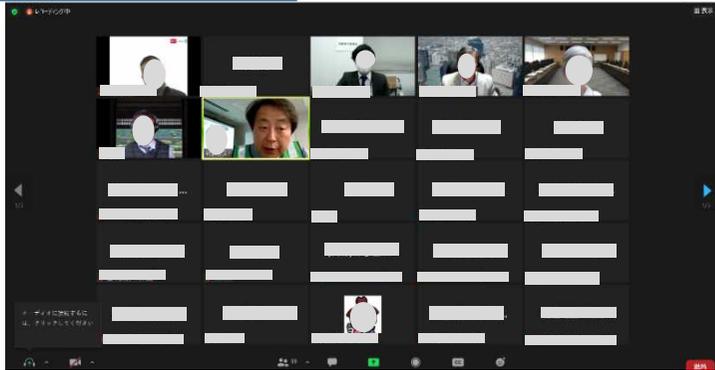


05.代替輸送訓練の様子 【令和3年度】

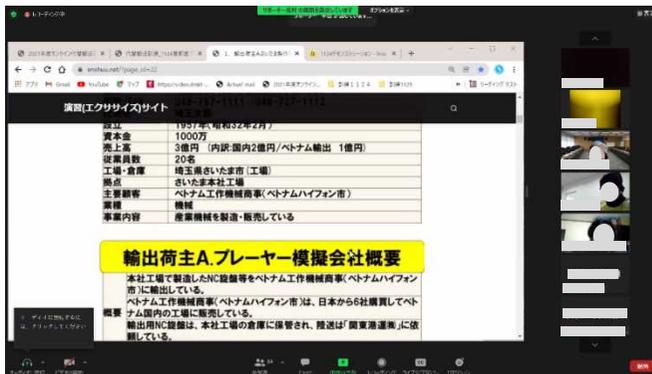
(1) オンライン代替輸送訓練の様子

首都直下地震: Zoom対応

全体での説明の様子

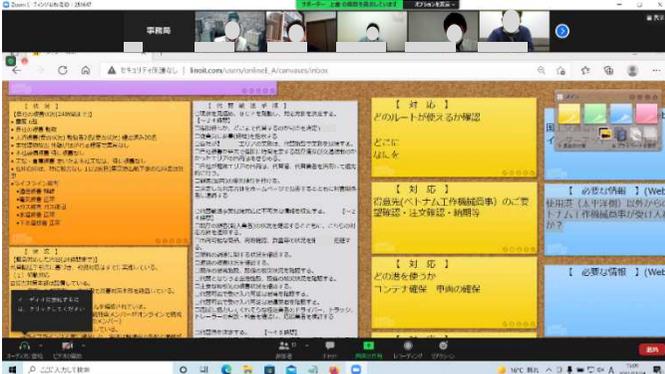


グループに分かれて演習を行う様子



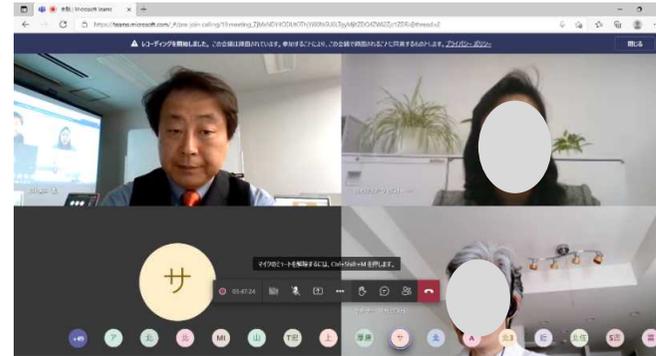
模擬会社の確認、資料確認

今後するべき内容の確認と、連絡する相手・内容の整理



南海トラフ地震: Teams対応

全体での説明の様子

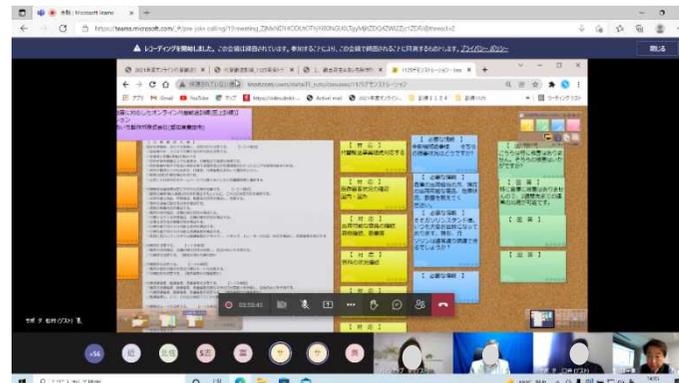


グループに分かれて演習を行う様子



模擬会社の確認、資料確認

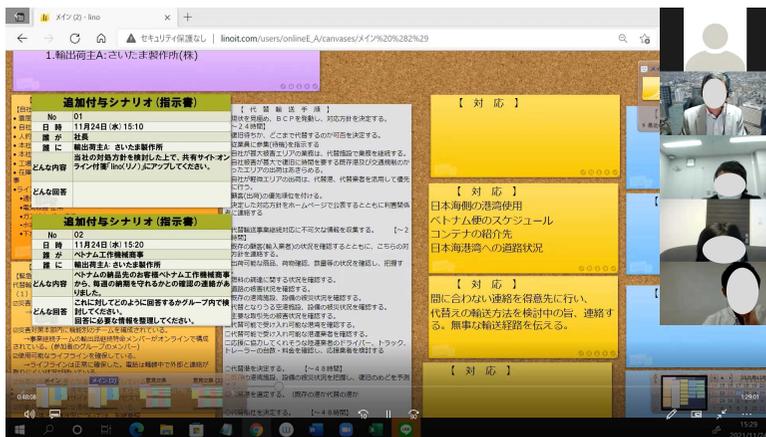
今後するべき内容の確認と、連絡する相手・内容の整理



(2) グループの様子

グループに分かれて、代替輸送対応策を検討し、オンライン付箋「lino(リノ)」で情報共有」

オンライン付箋「lino」の全体画面



○付箋ルール

- 【状況】** オレンジの付箋
- 【対応】** 黄色の付箋
- 【必要な情報】** 水色の付箋
- 【回答】** 黄緑の付箋
- 【追加付与シナリオ(指示書)】** 黄緑のシート

オンライン付箋「lino」の画面【追加付与シナリオ(指示書)の対応 その1】

追加付与シナリオ (指示書)		【 対応 】
No	01	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流部へ道路状況の確認を依頼する。 ・ 東京から本社への移動 ・ 本社から東京への移動 ・ 北陸方面への幹線道路での移動
日時	11月24日(水) 15:10	
誰が	社長	
誰に	輸出荷主E: つくば製作所	
どんな内容	当社の対処方針を検討した上で、共有サイト:オンライン付箋「lino(リノ)」にアップしてください。	
どんな回答		

オンライン付箋「lino」の画面【状況】

【 状況 】
【自社の被害状況(24時間まで)】

- ・ 震度 6強
- ・ 自社の被害 軽微
- ・ 人的被害(安否状況) 軽傷者2名(安否状況) 確認済み20名
- ・ 本社建物被害 外壁がはがれる程度で異常なし
- ・ 本社設備被害 特に被害なし
- ・ 工場・倉庫被害 さいたま本社工場は、特に被害なし
- ・ 在庫倉庫は、特に被害なし 11/28(日)東京港出航予定の在庫品は無事
- ・ ライフライン被害
 - ・ 通信被害 輻輳
 - ・ 電気被害 正常
 - ・ ガス被害 ガス復旧
 - ・ 水道被害 正常
 - ・ 下水道被害 正常

オンライン付箋「lino」の画面【追加付与シナリオ(指示書)の対応 その2】

追加付与シナリオ (指示書)		【 対応 】
No	03	北陸側 港湾使用に伴い 輸送費が2割アップする。 得意先に負担を申し入れ 可否の確認。
日時	11月24日(水) 15:30	
誰が	代替先の情報収集をしている担当者	
誰に	輸出荷主A: さいたま製作所	
どんな内容	代替輸送先の情報収集をしている担当者から、「代替港に振り替えると従来より2割程度費用が増しになる模様」との報告がありました。	
どんな回答	どうするかグループ内で検討してください。	

【 必要な情報 】 (Webメール)	【 回答 】
得意先に、北陸港湾利用に伴う輸送料 2割アップを許容いただけるか確認する。	金額についてはそちらで対処してください。 契約内容に基づいて、通常の価格で納品いただけることを望んでいます。

(3) 統括本部の様子

統括本部では、コントローラーが各グループの各模擬会社からの問い合わせに対して回答



「問い合わせWebメール」に対する検討と返信

追加付与シナリオ (指示書)	
No	02
日時	11月24日(水) 15:20
誰が	ベトナム工作機械商事
誰に	輸出荷主E: つくば製造所
どんな内容	ベトナムの納品先のお客様ベトナム工作機械商事から、毎週の納期を守るかとの確認の連絡がありました。
どんな回答	これに対してどのように回答するかグループ内で検討してください。 回答に必要な情報を整理してください。

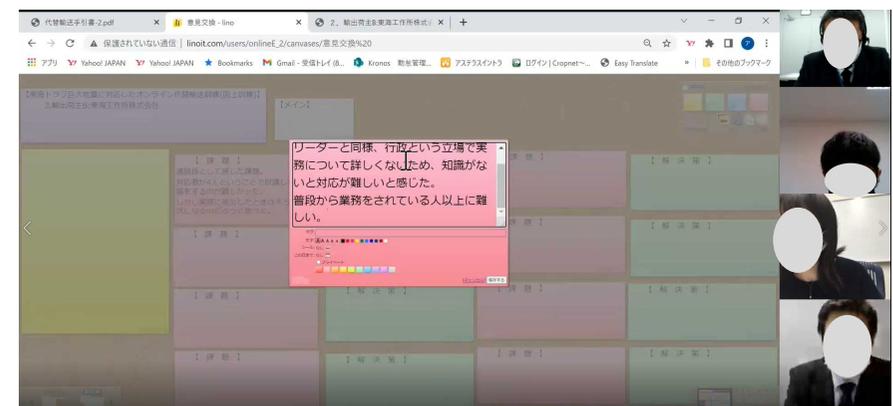
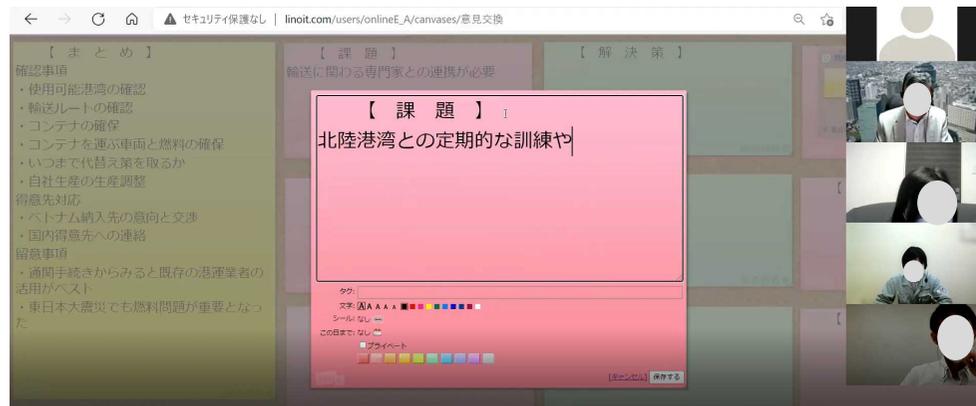


「指示書」状況付与と全体統制

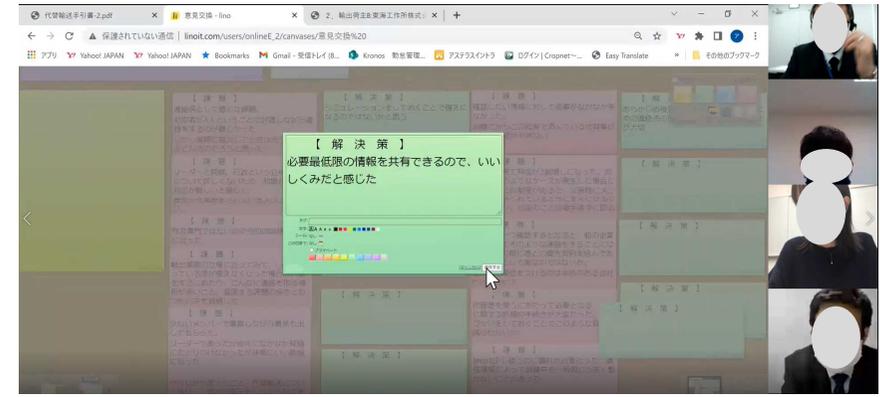
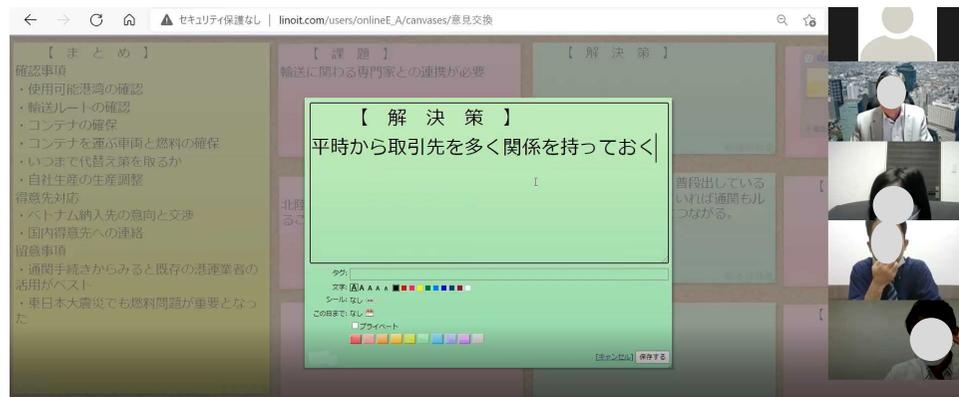
(4) 意見交換の様子

演習後、各グループで演習を振り返り意見交換を行った。
課題として、以下の意見が出た。

- ・参加者間の連携がうまくいかなかった。
- ・新しい情報が入ると、いままでやっていたことを忘れがち。情報の優先度が難しかった。
- ・どこに何を確認すれば良いのかが分からない。



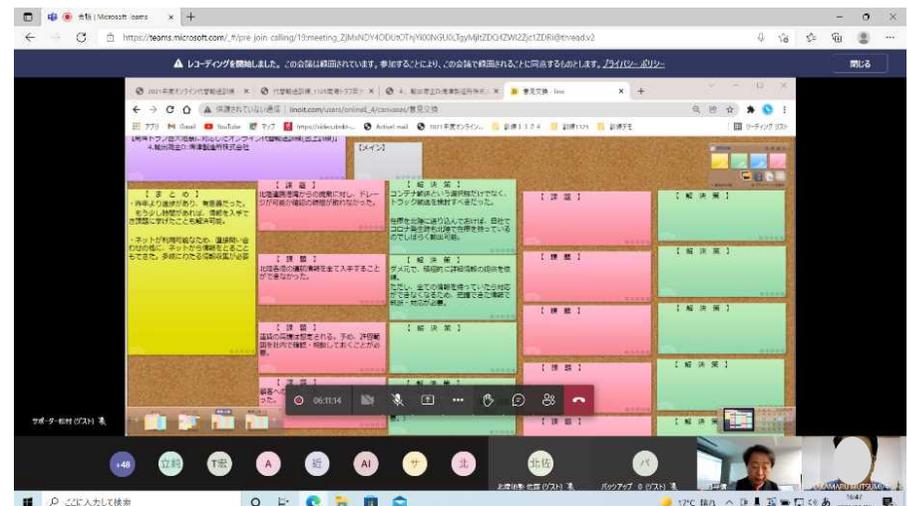
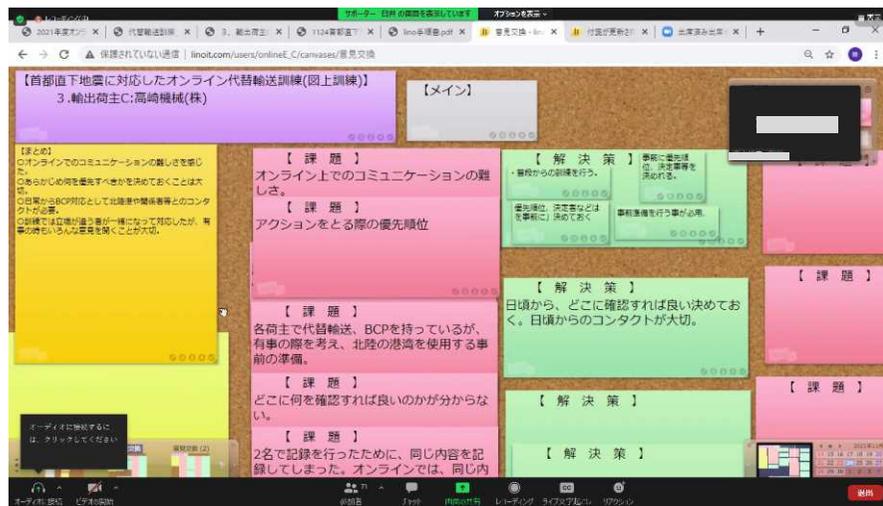
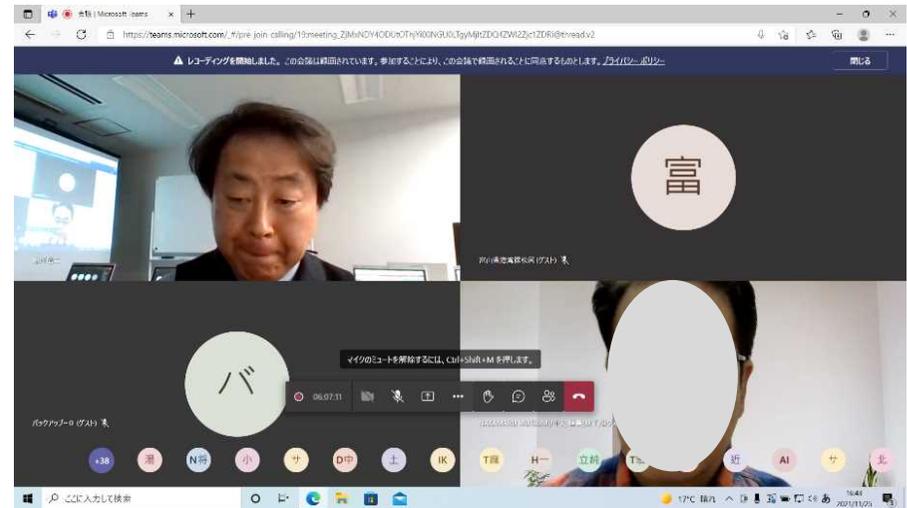
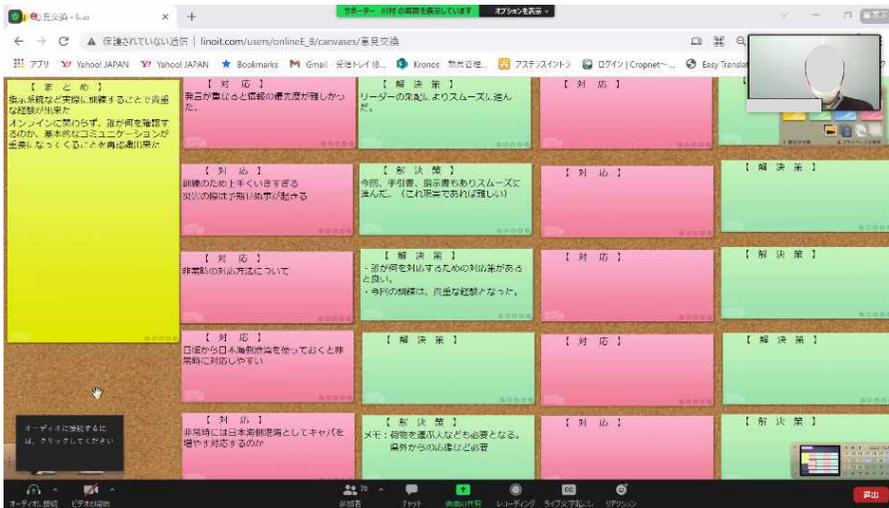
各グループで「課題」(ピンク)入力



各グループで「解決策」(黄緑)抽出

(5) 発表の様子

各グループで代表者が訓練の意見交換の内容を全体セッションで発表。
細坪氏より講評をいただいた。



各グループで「課題」発表

06. 訓練参加者へのアンケート結果

(1) 代替輸送訓練のアンケート結果（令和2年度、令和3年度）

- ① 訓練への参加リピート参加は、令和2年度：26%、令和3年度：25%と一定の割合であるが、初参加の割合の方が毎年多いことは、訓練の経験者が増え、代替輸送訓練の裾野が広がっていることが言える。
- ② 事業継続計画を策定済みの参加者は、令和2年度：57%、令和3年度：72%であった。事業継続計画の策定済みの割合が増加傾向であり、緊急時への対応策が図られてきている。

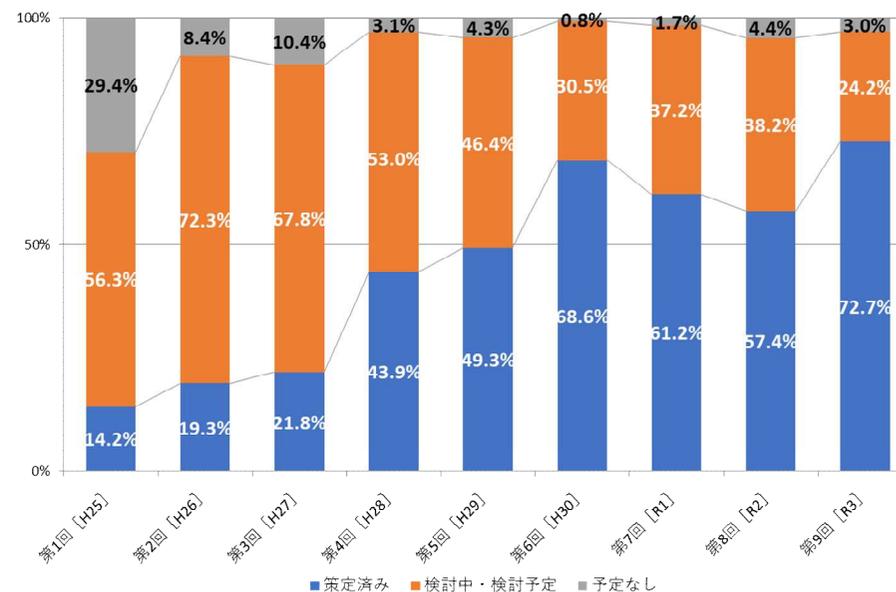
①訓練への参加リピート率

問 この代替輸送訓練は平成25年から実施していますが、過去に参加したことがありますか。



②事業継続計画の策定状況

問 事業継続計画の策定状況は現在どのような状況ですか。



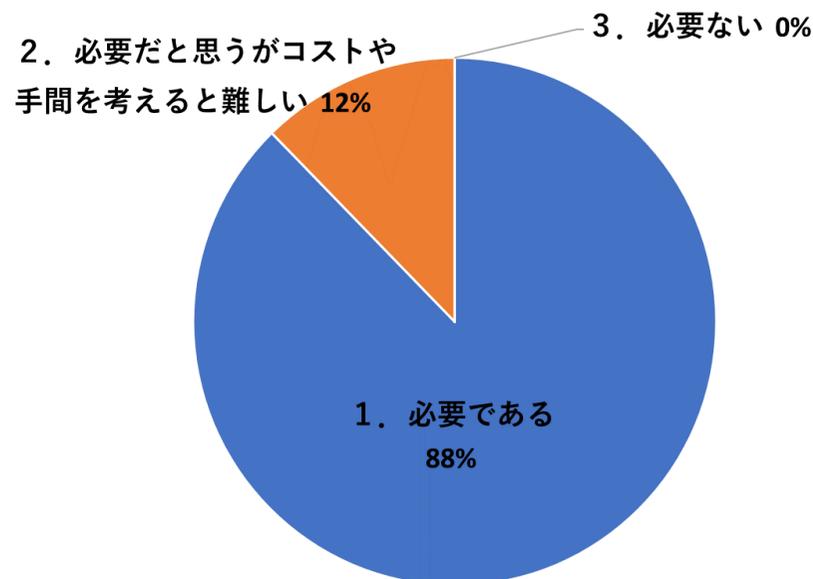
(2) 代替輸送訓練のアンケート結果（令和2年度）

- ① 代替輸送訓練が「必要」と答えた人の割合は88%となり、「必要だと思うがコスト・手間を考えると難しい」を含めると100%となった。
- ② 今回の訓練が会社の事業計画に活用できるか否かについては、「活用できる」「活用できる部分がある」を合わせると92%となり、本訓練が非常に有効であったと言える。

【令和2年度】

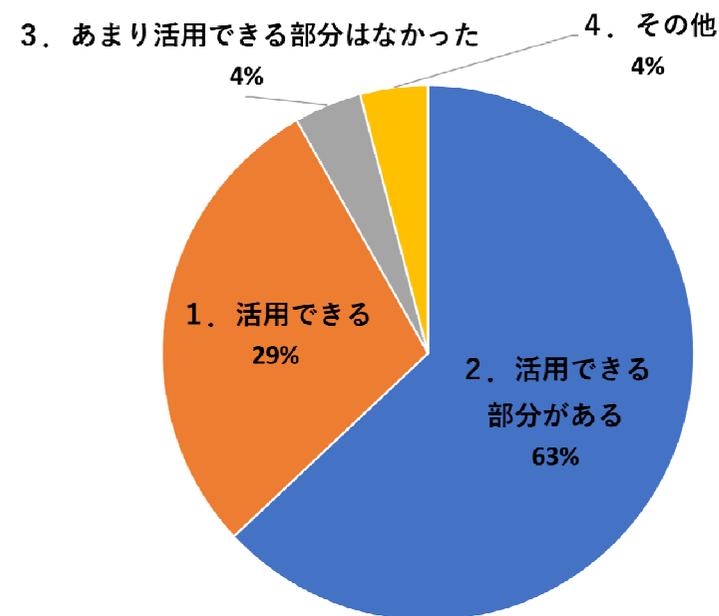
①代替輸送訓練の必要性について

問 実際に代替輸送を行う時に備えて、代替輸送訓練が必要だと思いますか。



②今回の訓練の活用について

問 今回の訓練を受けて、貴社の事業計画へは活用できそうですか。



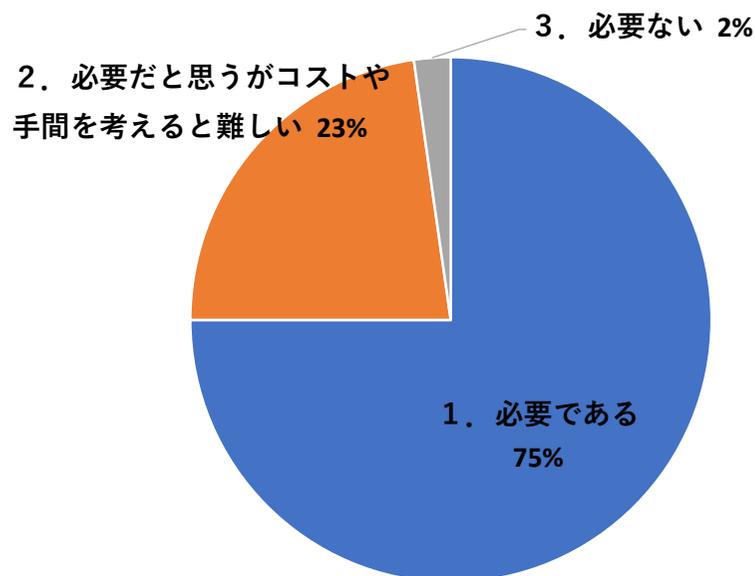
(2) 代替輸送訓練のアンケート結果（令和3年度）

- ① 代替輸送訓練が「必要」と答えた人の割合は75%となり、「必要だと思うがコスト・手間を考えると難しい」を含めると98%となった。
- ② 今回の訓練が会社の事業計画に活用できるか否かについては、「活用できる」「活用できる部分がある」を合わせると82%となり、本訓練が有効であったと言える。

【令和3年度】

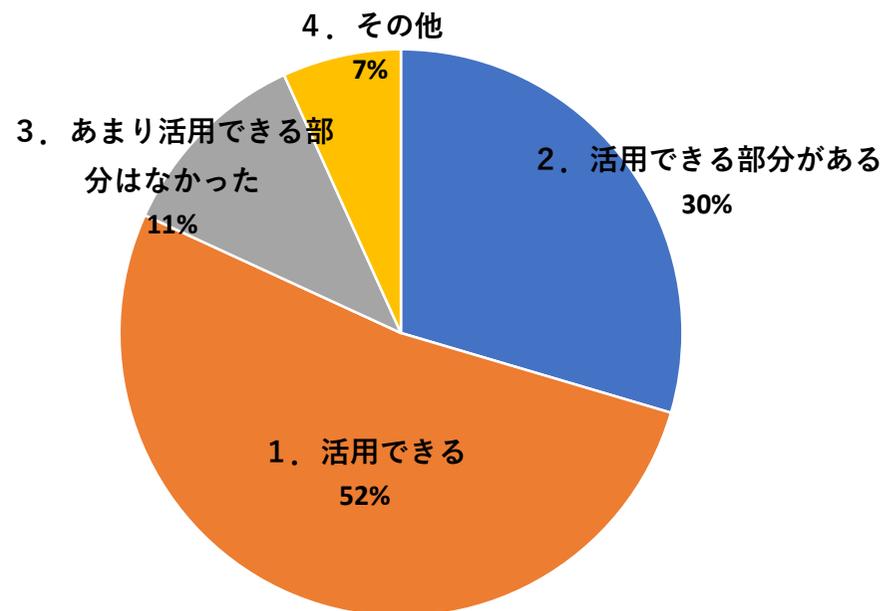
①代替輸送訓練の必要性について

問 実際に代替輸送を行う時に備えて、代替輸送訓練が必要だと思いますか。



②今回の訓練の活用について

問 今回の訓練を受けて、貴社の事業計画へは活用できそうですか。



(3) 代替輸送訓練のアンケート結果（令和2年度）

- オンライン方式でのコミュニケーションが難しさ、オンライン形式による訓練の必要性を感じられたという意見が多かった。来年度以降も引き続き、オンラインに形式による訓練の継続を検討していく。

問 本日は初めてのオンライン形式による訓練となりましたが、ご意見、ご感想などお聞かせください。

【有意義であったとする主な意見】

- ・ オンライン形式の訓練がより実践的でライブ感もあるので継続希望します。
- ・ 対面でない点でやりづらさを感じたが、非常事態においてはオンラインでの対応が必要になってくると考えると、必要な訓練のひとつであると感じた。
- ・ コロナ禍も相まって今後もテレワークが続くことが想定され、有事の際にコミュニケーションが取りづらい状況も体験できたので今後の対応に活かせると思います。
- ・ オンライン形式での災害対応は実際に起こりうることなので、慣れるためにも、こういった形式は良いと思いました。
- ・ オンラインでの訓練とすることによって、例えば、情報共有、意思疎通など実働訓練では見えていない部分が見えてきた。

【訓練における課題点等】

- ・ 私が配属されたグループでは通信に不具合が生じたため、同じグループ内でのコミュニケーションに苦慮しました。
- ・ オンライン形式は初めてだった為、使い方が中々難しかったです。操作方法や流れ等、事前に詳しくわかっていたらよかったですと思いました。
- ・ 昨年までの対面方式だと、コミュニケーションにおける反応が素早く、進み具合も早かった。今年のオンライン方式ではコミュニケーションが難しく、進み具合が悪かった。でも考えてみれば、本番の巨大地震下では十二分に有り得る状況で、オンライン方式の訓練の必要性を痛感しました。
- ・ 慣れていない部分も多く、もう少し強い誘導があってもよいのかなと感じた。

令和2年度の課題に対する令和3年度改善点、効果及び次年度以降の対応

令和2年度 課題	令和3年度 改善点	効果・次年度以降対応
初対面の者同士がオンラインで協議を行うことが難しいと感じた。	事前説明会の際に、グループごとに分かれてもらい、自己紹介、意見交換する場を設ける。	理解向上・次年度以降継続
慣れている方、そうでない方で訓練理解度が全く違っていたように感じました。	当日の説明の際に、デモンストレーションを実施し、各自がグループ内で何を理解してもらう。	理解向上・次年度以降継続
事前の設定を理解しないまま参加している人が多かったため、全体の説明よりも、各グループでの説明時間を増やすとよいと思います。	事前説明会の際に、グループごとに分かれてもらい、各グループで、想定内容の確認、資料の確認してもらうようにする。	一部理解向上・次年度以降継続
シナリオをもっと早くからわかるとよいのかも	参加者に、事前に、シナリオをホームページに開示する。	一部理解向上・次年度以降継続
資料はあえてオンラインでペーパーレスを意識したものと思いますが、事前に内容を把握するために、一式版をPDFなどで印刷可能な状況を希望します。	資料をPDFに準備し、ホームページからダウンロードできるようにする。	一部理解向上・次年度以降継続
HPで情報を確認する毎に毎回パスワードを求められる仕様は非常に煩雑です。「戻る」こともできないことは改善いただきたい。	パスワードを外すと、誰でも見ることが可能になるため、各ページごとに「戻る」ボタンを設定し、ページの移動をしやすいにする。	問題なし
オンライン付箋「Lino」は、使いづらそう。	各グループのサポーターが「Lino」をサポートする。 (この意見は、実際に「Lino」に入力していない方のコメント)	大きな問題なし・次年度以降継続
ツールの使い方等、不慣れなことが多かった	事前説明会の際に、グループごとに分かれてもらい、チャット、ツールの活用も体験してもらうようにする。	理解向上・次年度以降継続
各々のネット環境にもよりますが、音声聞きづらい事がある。	Zoom、Teamsをハイブリッドで行った弊害。 今年度は、首都直下地震：Zoom、南海トラフ地震：Teams単独で運用する。	TeamsとZoomで分けたことでスムーズ・次年度以降継続
ハウリングがひどく、聞き取りづらかった。	Zoom、Teamsをハイブリッドで行った弊害。 今年度は、首都直下地震：Zoom、南海トラフ地震：Teams単独で運用する。 オンラインに、初めて参加された方が多く、マイクをミュートにしてなかった方が多くいたため、全体説明中は、ミュートの徹底を周知する。	TeamsとZoomで分けたことでハウリングなし・次年度以降継続
音声（ハウリング）について改善してください。	Zoom、Teamsをハイブリッドで行った弊害 今年度は、首都直下地震：Zoom、南海トラフ地震：Teams単独で運用する。 オンラインに、初めて参加された方が多く、マイクをミュートにしてなかった方が多くいたため、全体説明中は、ミュートの徹底を周知する。	TeamsとZoomで分けたことでハウリングなし・次年度以降継続

(3) 代替輸送訓練のアンケート結果（令和3年度）

- 事前説明会時のグループでの自己紹介、訓練デモンストレーション等を実施により、一部の参加者には、改善の効果はあった。ただし、時間配分やシナリオ等運営上での課題に対し、ご意見頂いたところであり、代替輸送の重要性をご理解頂くために、次年度以降も訓練を実施する。

問 オンライン形式による訓練となりましたが、ご意見、ご感想などお聞かせください。

【有意義であったとする主な意見】

- オンラインでの初めての訓練で戸惑いもありましたが、事前説明と事前練習により大きな戸惑いもなく進める事が出来ました。
- 本訓練は専門性に特化しておらず、輸出業務を始め物流の業務に携わっていない私でも参画でき、内容が分かり易く、とても参考になりました。模擬訓練前に事務局の皆さんで模範トライをしていただいたのが、イメージが掴め、とても有り難かったです。
- 今回のセミナーは国際物流BCP未実施の当社にとって、その必要性を認識づけるには良いきっかけとなった。

【訓練における課題点等】

- 事前に資料を読んでいなかったため、状況に入れなかった。代替先の会社名等、押さえておくべき事が分からなかった。資料を読んでおくようにと強く言って頂いた方が良いと思う。
- 冒頭の説明からかなりのスピードで話についていけなかったため、初心者向けの回などがあると大変ありがたく思います。
- オンラインという事もあり中々難しい場面もあり、特に発言のタイミングやコミュニケーションが取りにくかったです。
- 役割を決めた際、誰がどの担当になったか一目で分かるようにした方がよいと思いました。(メモアプリ上で担当割を記載した付箋を表題近くに貼付するなど)
- 事前説明も進み方が早く、理解が追いつかなかつたし、手引きも盛りだくさんで事前確認の時間が無かった。
- 活用Toolの扱い方ももっと説明いただけると、訓練もスムーズかと思う。

令和3年度の課題に対する次年度改善点、効果及び次年度以降の対応

令和3年度 課題	次年度 改善点
<p>訓練への参加リピート率が低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 早い時期に過年度参加者へ訓練開催予定日を周知する。 • 新たな視点で太平洋側港湾の代替としてバックアップ訓練内容を検討する。
<p>事前に、シナリオ等の資料をホームページに開示したが、資料の事前確認することまで周知が徹底されていなかったため、資料の事前確認ができなかった方については、訓練にスムーズに入れない状況があった。</p>	<p>ホームページに開示している資料について、事前確認の周知を徹底し、訓練実施前に代替輸送訓練について理解していただく。</p>
<p>代替訓練の説明資料等をホームページに開示することで、代替輸送訓練当日は、訓練に関する説明を最小限の時間で設定したが、訓練の理解が追いつかない方がいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 訓練の説明資料等はホームページに開示し、事前確認の周知を徹底する。 • 代替輸送訓練の事前説明会に極力参加していただくよう出席依頼の徹底や、事前説明会の構成を見直す。
<p>テーマを『オンライン上でのスムーズなコミュニケーションと代替輸送の切り替え手順の確認』としたが、本題の代替輸送の切り替え手順の確認以前に、オンライン上でのコミュニケーションに苦労している方もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今後もオンライン形式の訓練を継続し、訓練内容のレベルを向上させる。 • 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた上で、オンライン方式の訓練だけでなく、参集方式の訓練の開催も検討する。
<p>令和2年度より訓練の理解も深まり、代替輸送の切り替え確認の手前まで演習が進んだグループもあった。訓練本番で演習時間を確保することが重要である。（今年度は北陸地域港湾紹介を訓練本番ではなく、事前説明会で実施し、演習時間をより多く確保した。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き訓練を継続し、訓練内容のレベルを向上させる。 • 事前説明会及び訓練本番のスケジュール構成を見直し、適切な演習時間を確保、設定する。